

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小4	国語	読む（物語文）「ごんぎつね」 光村図書（R7）	オクリンクプラス 提出BOX・ピン集計
授業内容	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する		
準備： - 共有コードを使用してカード（ごんのいんしょうカード3枚セット、心のきよりグラフカード）を取得する。 - みんなのボードに「心のきよりグラフ」ボードを用意する。 - 提出BOXを1場面～6場面の6つ用意する。提出物の公開設定を「公開」にしておく。 - 提出BOX「まとめ」を用意する。 - 準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。 授業の流れ： 1. 1場面を読み、1場面のごんの印象が「やさしい」「困っている」「どちらともいえない」のどれに当てはまるかを各自で考え、1つに決める。印象を決めたら、そのように考えた理由をマイボードに送られた「ごんのいんしょうカード」に入力する。「やさしい」と思った場合は青色、「困っている」と思った場合は赤色、「どちらともいえない」と思った場合は黄色の「ごんのいんしょうカード」に入力する。入力が終わったら、1場面の提出BOXに送る。 2. 提出BOXに送信された「ごんのいんしょうカード」を全体で確認する（「やさしい」「困っている」「どちらともいえない」の印象ごとにカードの色が異なるため、提出BOXを見るだけで全体の傾向を把握できる）。全体の傾向に触れながら、情景や人物の様子、気持ちを振り返る。 3. 各自、マイボードに送られた「心のきよりグラフカード」を開き、1場面の「ごんの気持ち」と「兵十の気持ち」の距離をピンを動かして表す。 4. 班になり、互いにマイボードの「心のきよりグラフカード」を見せ合い、どんなことを手掛かりに「ごん」と「兵十」の心のきよりを想像したか、各自の考えを伝え合う。話し合いの中で自分の意見に変化があったら、マイボードの「心のきよりグラフカード」を修正する。話し合いの後、カードをみんなのボード「心のきよりグラフ」に送る。 * 10時限程度にわたる内容です。 るす思た こず 第3場面 7 48 行目 ページ 兵十につぐないをしよ うとしたけれど、人から めすんだいわしを届け ていいことをしたと 思っている ごん 第3場面 39 ページ ごん 第4場面 4 ページ ごん 第5場面 4 ページ ごん 第6場面 4 ページ 場面ごとの提出BOX内の カードイメージ 共有コード 共有コードを入力、または カメラを起動して 二次元コードを読み込む pb01M0S9C730DWC9GWQWH70QY68M (次頁に続く)			

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小4	国語	読む（物語文）「ごんぎつね」 光村図書（R7）	オクリンクプラス 提出BOX・ピン集計
授業内容	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像する		
授業の流れ（続き）： 7. 先生は、みんなのボード「心のきよりグラフ」に送られたクラス全員の「心のきよりグラフカード」をピン集計し、結果を共有。その後、どのような話し合いがされたかを班ごとに発表する。ピン集計の結果や他の班の意見も聞き、意見がかわったらマイボードにある自分の「心のきよりグラフカード」を各自修正する。 8. 「ごんのいんしょう」カードの取り組みと「心のきよりグラフ」カードの取り組みを2場面以降も行う。 *「心のきよりカード」は、6場面が終わったときに1場面から6画面の心のきよりの変化が1つのカードで確認できるように1つのカードに追記していくようにする。「ごんのいんしょう」カードは毎回新しいカードに記入していくため新しい場面になるたびに配付。また「ごんのいんしょう」カードの提出には各場面ごとの提出ボックスを使う。 9. 「ごんのいんしょう」カードの取り組みと「心のきよりグラフ」カードの取り組みが、6場面まで終わったら、自分の「心のきよりグラフカード」をみながら、「ごん」と「兵十」の心が最後につながったか考え、その考えをマイボードに送られている「心のつながりまとめカード」に入力する。 1. 班で「心のつながりまとめカード」の内容をマイボードを見せ合いながら共有し、感想を伝え合う。新たに考えたことや思ったことがあったら、自分の「心のつながりまとめカード」を修正する。 7. マイボードの「心のつながりまとめ」「心のきよりグラフ」のカードをつなげて提出BOX「まとめ」に送信する。			
サポート おすすめ ポイント	「ごんはどんなきつねか」の問いに対する考えを「ごんのいんしょうカード」として提出BOXに蓄積しておき、場面ごとにいつでも振り返れる状態を作ること、前時の学習を活かして考えを深めることができます。 - 心情の移り変わりをグラフにあらわし、場面と場面を結び付けたり比べたりして、登場人物の気持ちの変化をとらえることができます。		

「心のきよりグラフ」取り組み例



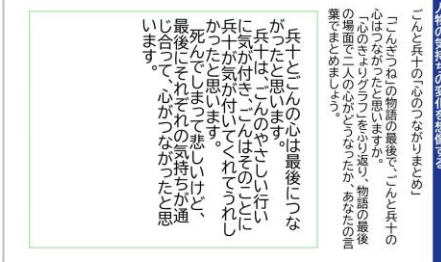
人物の気持ちの変化を想像する

ごん、兵十の心のきよりグラフ

ごんの気持ち

兵十の気持ち

「心のつながりまとめ」取り組み例



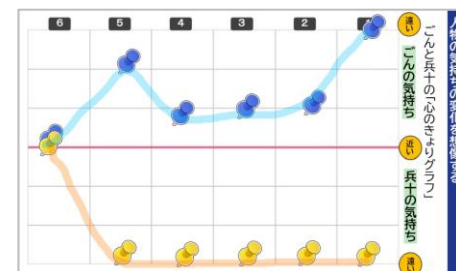
人物の気持ちの変化を想像する

ごん、兵十の心のつながりまとめ

「ごんぎつね」の物語の最後、ごん、兵十の心はつながったと思います。ごんは、兵十の心のきよりグラフをかり返り、物語の最後の場面、二人の心がどうつながったか、あなたの言葉でまとめましょう。

兵十とごんの心は、最後につながったと思います。兵十は、ごんがやさしい行いに気が付き、ごんは、兵十の心に、兵十が気が付いてくれてうれしかったと思います。死んでしまつて悲しいけど、最後にそれぞれの気持ちが通じ合つて、心がつながったと思います。

「心のきよりグラフ」取り組み例



「心のつながりまとめ」取り組み例

